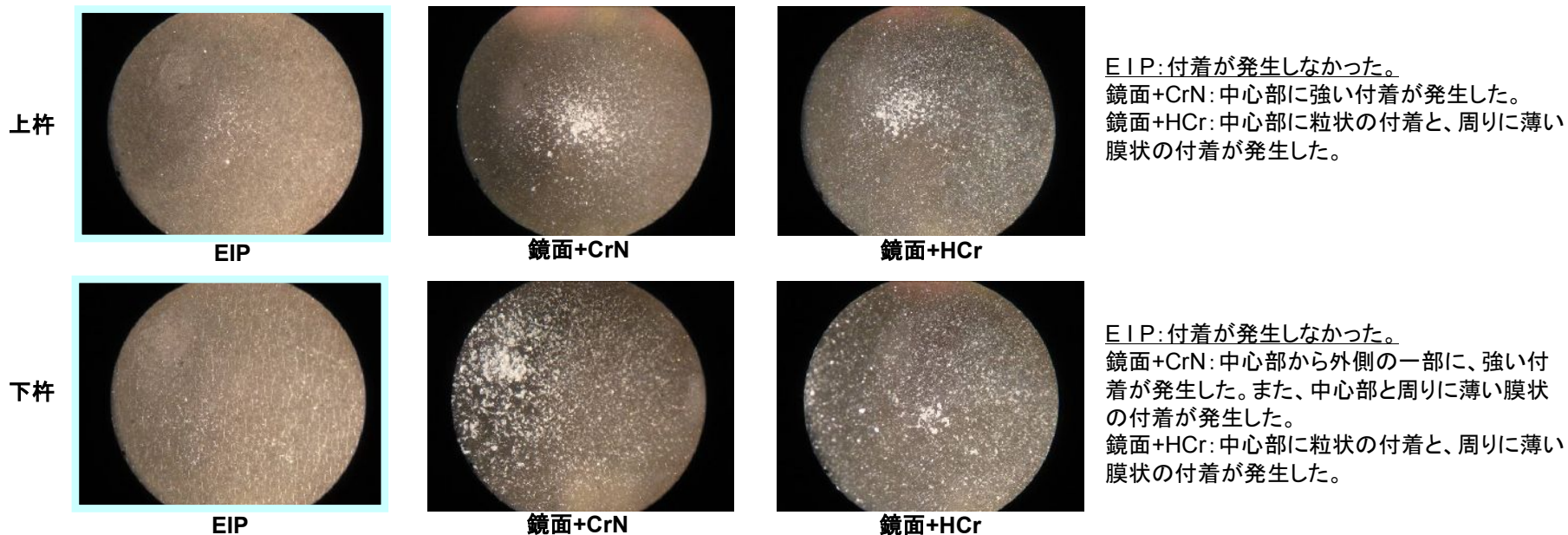


## イブプロフェン+マンニトール+アイロジル高打圧打錠試験

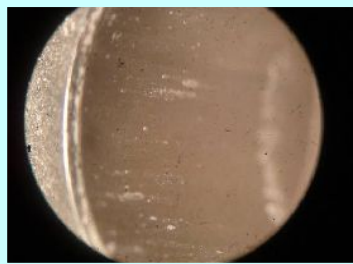
目的	粉体の流動性を改善し、滑沢剤を含有しない錠剤の打錠試験を行った。
使用薬剤	イブプロフェン50%、マンニトール50%、アイロジル0.5%
使用杵	EIP、鏡面+CrN、鏡面+HCr 以上 3種類の上下の杵
使用臼	フッ素複合メッキ、通常メッキ、超硬合金 以上3種類
錠剤硬度	60-65N
打錠時間	40rpmで27分間行った。
打圧	本圧上ロール:490kgf 本圧下ロール:440kgf 予圧上ロール:30kgf 予圧下ロール:50kgf 押上圧力:11kgf
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して高打圧にて打錠する。 ②打錠時間を均一に設定して打錠する。 ③打錠後、顕微鏡にて杵打錠面と臼表面を観察する。

### 試験結果(杵)



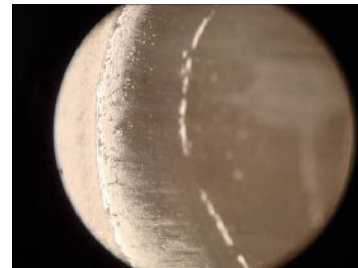
以上の結果から、EIP杵でステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブプロフェン+マンニトール+アイロジルを高打圧で打錠できることが判明した。

## 試験結果(臼)



フッ素複合メッキ

中心部に膜状の付着が僅かに発生した。



通常メッキ

入り口から少し奥に線状の強い付着が発生した。中心部には、膜状の付着が一部に発生した。



超合金

入り口付近に線状の強い付着が発生した。中心部には、線状の付着と、一部に膜状の付着が発生した。

以上の結果から、フッ素複合メッキ臼はステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブuproフェン+マンニトール+アイロジルを高打圧で打錠する場合使用できることが判明した。